

先憂後楽



『先憂後楽』とは、「国の大事については、世の人々に先立って憂い、そして国がよく治まり人民が楽しんでいられるのを見届けてから初めて自分も楽しむ」という意味です。
(題字揮毫 林田悠紀夫先生)

2005.6 第22回 府政報告 多賀久雄事務所
〒626-0008 京都府宮津市万年895-8 TEL(0772)22-6335 FAX(0772)22-6335
<http://www.tango.or.jp/taga/> E-mail: taga@tango.or.jp

みんなで創ろう! 輝くふるさと

暑中お見舞い申し上げます

会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。

さて、府会議員は、皆さんの声をしっかりと聞き、府政運営に反映をさせていくという大きな任務を持っておりますが、府政運営の課題を皆さんに知らせていくという大きな任務も持っております。この先憂後楽もその一つとして大切にしております、皆さんへの情報発信として魅力あるものにしていきたくと思っております。

ところで、京都府議会でも、平成十七年の二月議会から、インターネット議会中継 (<http://211.5.166.28/gikai/>) をしております。これは、ライブあり、録画ありで、本会議だけでなく、委員会でのやり取りも中継しております。特に、原稿なしでやり取りする委員会は見ものです。

こうしたことにより、少しでも皆さんに府政を身近かに感じていただければと願っております。

いよいよ暑さも厳しくなってきました折ですので、お身体ご自愛のほどお祈りいたします。

京都府議会議員 多賀久雄



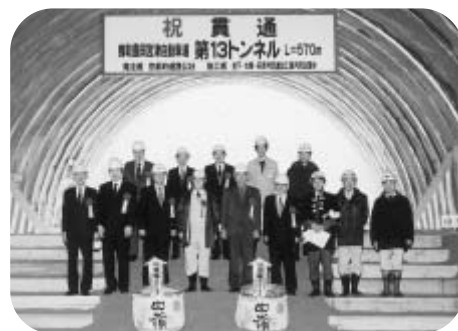
李登輝前総統(台湾)と会談

議会報告

2月定例会で代表質問しましたので、その質疑応答の抜粋をお知らせします。

災害対策について 宮津市滝馬地区の土石流によりお二人がお亡くなりになられた事案であります。雨量観測は、有効半径5kmという広範なエリアの中心を基準としているため、急傾斜地崩壊の危険が予測される3,765箇所、土石流の危険が予測される5,024箇所のうち、どこがという特定は出来ず、現地での危険予測の判定なしでは、説得力のある避難勧告とはならないのであります。そこで「土砂災害監視システムのあり方」について、今後どのようにしていかれるのかお答えください。

答弁 御指摘の土砂災害監視システムにつきましては、警戒避難情報が住民避難に十分活かしていないなど、今回の台風災害での課題を踏まえ、住民の避難・誘導に当たります市町村との連携のあり方をもう一度見直し、その意見も踏まえ、情報の提供と運用方法について、相互理解を深めるとともに、気象庁による気象レーダーの観測の活用による降雨データの充実や被災データの蓄積な



ど、情報自体の精度も高め、安全確立へ改善を図ってまいりたいと考えております。

さらに、今後、京都府として、平成15年5月に公表いたしました「土砂災害警戒箇所点検マップ」の住民への一層の周知など情報提供に努め、住民の皆さまにも日頃からの警戒を十分にさせていただくとともに、河川の浸水想定区域や土砂災害危険箇所などを盛り込んだ総合的ハザードマップ作成支援など、地域の防災に当たる市町村が避難誘導體制の充実を図れるよう、一層連携強化に努めて参りたいと考えております。



地方行政改革特別委員会管内調査

北近畿タンゴ鉄道について 北近畿タンゴ鉄道を端的に表現するようになります。京都府の福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、大江町、野田川町及び兵庫県の豊岡市1572km²に居住する31万人の住民の移動を担う鉄道で、旧国鉄時代の料金に据え置いていることもあり、会社設立以来今日まで、全ての決算において経常損失を出し、京都府、兵庫県、沿線市町の支援により運営されております。また、旧国鉄時代に比べ、運行本数は2倍、運行路線も1つ増え、東京と4時間少して結ばれるなど、飛躍的に利便性が向上したのでありますが、輸送人員は旧国鉄時代よりも減少し、現在では223万人となっております。北近畿タンゴ鉄道黒字化の道は遠いと思いますが、交通哲学も含め、北近畿タンゴ鉄道にける知事の思いについてお聞かせください。

答 弁 鉄道は地域の重要な足として生活を支えていく、大量輸送の公共交通として環境を支えていく、さらに、観光の振興や地域全体の活性化の原動力として地域を支えていく、私は、重要な社会基盤であると考えております。



KBSテレビ放映 総務常任委員会

特に、北部地域は高齢化が進展している地域であること、さらには、地域の活性化のためには丹後観光の振興は、地域の戦略上、大きな課題であることを考えれば、K T Rの果たす役割はこれからさらに増大していくことが期待されております。

K T Rは、その果たす役割からしまして、単に採算面だけで論じることではできませんけれども、これからの発展のためには、何よりも住民をはじめ地元の御熱意が最も大切であると考えておまして、今日、議員の思いをうかがいまして、非常に心強く感じた次第であります。

私は、今後改めて、開業や転換当時の原点に戻りまして、もう一度K T Rの丹後地域全体に果たす役割を見つめ直し、議員御指摘の点も踏まえ、地元と一体となった、K T Rを中心とした地域づくりを進め、採算性も含め、K T Rの今後さらなる改善や発展を図っていきたいと考えております。

道徳教育について 誠をはじめ、正義、恩義、奉公、自律などの言葉や価値が、軽視されつつある今日、未来を担う子ども達の「心の教育」は待ったなしの重要な教育課題であります。そうした中、私がかねてからその早期作成を訴え続けて参りました「心の教科書(ノート)」の作成に係る予算が今議会に提案され、大変嬉しく思っております。偉大なる人材を多く輩出している京都発の「心の教科書」でありますので、しっかりした執筆者により仕上げていただきたいと思いますところあります。

そこで「心の教科書」にどのような価値観や内容を盛り込もうと考えておられるのか、その決意も含めてお答え下さい。

答 弁 道徳教育についてであります。学校では、人間としての在り方や生き方を考えさせる心の教育のかなめとして、体験活動も取り入れて、児童生徒の心に響く道徳の授業に取り組んでいるところであります。

しかしながら、子どもたちの問題行動や自他の生命を奪うという事件が続発していることなどを考えますと生命の尊重、公共への奉仕、また、正義を重んじること、さらには、豊かな未



平成17年度 夏まつりと総会

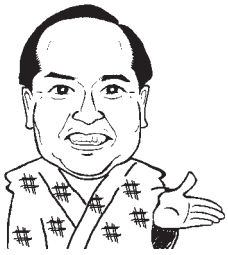


本年も皆様と共に夕涼み
「わきあいあいと語り合い」

日 程：平成17年8月6日(土) 夕刻6時より
場 所：天橋立ホテル
料 金：男性4,000円・女性3,300円
送迎あり。

さあ皆さん! 今すぐお電話かファクスでご連絡を。
TEL/FAX 0772 - 22 - 6335 (多賀事務所迄)

飲み放題!!
食べ放題!!



♥♥♥ 『台風23号で倒れた松で手作り灯ろう』 ♥♥♥

名松
リバー
基金

昨秋10月20日台風23号が天橋立を直撃し193本の松がなぎ倒されました。“木は倒されても生きている”その松の蘇生として、活かされる事を念願し基金を募っています。ご賛同いただける皆さんにお願いしています。

京都銀行宮津支店 普通 3825398

京都北都信用金庫府中支店 普通 0999814

口座名義 天橋立名松リバー実行委員会 会計 奥田聖五

昨年の台風23号で倒れた松を再利用しようとする取り組みが盛んに行われています。

6月11日(土)には府中小学校全校児童112名と保護者により灯ろうの制作が行われました。

松材は天橋立名松リバー実行委員会から提供して頂き、それを府中実業会青年部が制作しやすいようキット化し、小学校の皆さんでいろんな絵や、折り紙を貼り付けたりしてユニークなオリジナル灯ろうが完成しました。地域活性化の一環としてこの松材を灯ろうとして再生。来る8月6日(土)、7日(日)に2000本の竹灯ろうと一緒に地区内のストリートライトアップする 心ルネサンス・天橋立 「府中・竹彩 ~take-iro~」で披露!! 致します。(森)

